

こんにちは。

新年ですね。日本のほとんどの学校では、一月は冬休みの後半と三学期の前半にあたると思います。私の学校はセメスタ制（二学期制）で、一月にセメスタが変わり、クラスもがらりと変わります。英語と体育は必須なので変わりませんが、それ以外の3つのクラスは全て新しくなりました。

元々のスケジュールではセメスタ2から毎日数学、理科、フランス語のクラスに行くことになっていました。しかし、フランス語はカナダの公用語として認定されていて、学校でも早い段階でしっかり教えているみたいなので、10年生の授業を受けると、何も知らない私はまるで授業について行くことが出来ませんでした。努力で補うことも考えたのですが、クラスを変えるよう先生に言われたので、カウンセリングオフィス（色々なことについて相談する場所）に行って他のクラスに変更することはできないかと交渉を試みました。すると、12年生の Genocide に空きがあると言われました。

Genocide という言葉を調べてみると、集団殺人や大量虐殺といった意味があるみたいで少し怖かったです。どんなことを学ぶのだろうという好奇心で授業を受けてみました。すると、思いの外とても興味深い内容でした。初回のクラスでは、ナチスドイツの優生学と、人種と人間のアイデンティティーの関係について学びました。歴史の年表ではなくて、当時の思想や人々の考え方に焦点を当てていて、面白いなと思いました。また、12年生のクラスは普段の10年生のクラスに比べてとても落ち着きがあり、発言も積極的で凄くいいなと感じました。

セメスタが変わるタイミングで、人の入れ替わりもありました。私と同じタイミングで来た留学生の過半数が自国に帰ってしまい、新しく5人留学生が来ました。初日の朝に、新しく来た人たちに教室の場所や手続きの方法を教えるため、小さな校内ツアーをしました。とても気さくな人たちで、仲良くなることができたので嬉しかったです。改めて、様々な国の人たちと友達になれる体験というのは本当に貴重だなと感じました。

白鷗高校15期生 次世代リーダー育成道場10期生 M・N